

逗子市障がい者福祉計画策定のためのアンケート調査
ご協力をお願い

表紙について、後日更新予定

1

2

3

4

5

1. あなたご自身のことについて

問1 あなたの性別はどちらですか。(1つに○)

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

問2 今年の4月1日、あなたは何歳でしたか。(1つに○)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 15～19歳 | 2. 20～29歳 | 3. 30～39歳 |
| 4. 40～49歳 | 5. 50～59歳 | 6. 60～64歳 |
| 7. 65～74歳 | 8. 75歳以上 | |

問3 現在、あなたがお住まいの地域はどちらですか。(1つに○)

- | | | | |
|--------|-------|-------|-------|
| 1. 逗子 | 2. 桜山 | 3. 沼間 | 4. 池子 |
| 5. 山の根 | 6. 久木 | 7. 小坪 | 8. 新宿 |

問4 あなたの職業は何ですか。(1つに○)

- | | | |
|----------|----------|--------|
| 1. 正規雇用 | 2. 非正規雇用 | 3. 事業主 |
| 4. 家事専従 | 5. 学生 | 6. 無職 |
| 7. その他 (| |) |

問5 あなたの身近に、障がいのある人はいますか。

(1つに○をつけ、1をお選びの場合、付問にもお答えください。)

- | | | |
|-------|--------|----------|
| 1. いる | 2. いない | 3. わからない |
|-------|--------|----------|

問5で「1」と答えた方にお聞きします。

付問① それは、あなたからみてどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 配偶者・パートナー | 2. 子ども(その配偶者も含む) |
| 3. 親(自分の親・配偶者の親) | 4. 兄弟姉妹(その配偶者も含む) |
| 5. 祖父母 | 6. 孫(その配偶者も含む) |
| 7. その他の親族 (| 8. 友人 |
| 9. 職場の人 | 10. 学校の友だち |
| 11. 家族の友達 | 12. 近所の人 |
| 13. 趣味の仲間 | 14. その他 (|

2. 障がいのある人とのかかわりについて

問6 あなたは、最近の5年程度で、障がいや障がいのある人に対する理解が進んできたと思いますか。

(ア.～オ. について、最もあてはまると思うものに1つずつ○をつけ、1または2をお選びの場合、下の付問にもお答えください。)

	大きく進んできた	少しは進んできた	あまり進んでいない	ほとんど進んでいない	何ともいえない・わからない
ア. 社会全体で	1	2	3	4	5
イ. 学校で	1	2	3	4	5
ウ. 職場で	1	2	3	4	5
エ. 市内の身近な地域で	1	2	3	4	5
オ. あなたやあなたの家族の中で	1	2	3	4	5

問6「ア.～オ.」のいずれかで「1」または「2」と答えた方にお聞きします。

付問① 障がいに対する理解が進んだ主な理由は何だと思えますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. パラリンピックなど、障がいのある人の活躍がよく紹介されるようになった
2. 様々な障がいに関する理解を進める情報が充実してきた
3. 学校などでの福祉教育、障がいのある子どもとの交流が充実してきた
4. 企業による障がい者雇用が進んできた
5. 障がいのある人を、まちや乗り物の中でよく見かけるようになった
6. 身近な人々の中に、障がいのある人が増えてきた
7. 障がいのある人の積極的な社会参加が進んできた
8. 市や地域での交流イベントが定着してきた
9. 精神障がいや発達障がいなどが、他人ごとでないと思うようになった
10. 特にない・わからない
11. その他 ()

問7 あなたは、最近の5年程度で、障がいのある人への差別が解消され、分け隔てのない状態が進んできたと思いますか。

(ア.～オ.について、最もあてはまると思うものに1つずつ○をつけ、3または4をお選びの場合、下の付問にもお答えください。)

	大きく進んできた	少しは進んできた	あまり進んでいない	ほとんど進んでいない	何ともいえない・わからない
ア. 社会全体で	1	2	3	4	5
イ. 学校で	1	2	3	4	5
ウ. 職場で	1	2	3	4	5
エ. 市内の身近な地域で	1	2	3	4	5
オ. あなたやあなたの家族の中で	1	2	3	4	5

問7「ア.～オ.」のいずれかで「3」または「4」と答えた方にお聞きします。

付問① あなたは、障がいに対する差別の解消が進みにくい主な理由は何だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 障がいを受け入れられない意識や偏見がまだ根強い
2. 障がいに関する理解に必要な情報がまだ不足している
3. 学校などでの教育や交流のあり方がまだ十分でない
4. 障がいのある人が活躍できる仕事や職場環境（設備や制度）が整っていない
5. まちや施設、交通機関などのバリアフリー化がまだ十分でない
6. 地域の中での交流がまだ不足している
7. 厳しい経済情勢の中で、ゆとりや思いやりがもちにくい
8. 特にない・わからない
9. その他（ ）

問8 あなたは、障がいのある人（ご家族以外）とどのように関わっていますか。
（あてはまるものすべてに○）

1. 学校で一緒に学んでいる（いた）
2. 職場で一緒に働いている（いた）
3. 趣味・スポーツ活動を一緒にしている（いた）
4. 自治会活動や社会貢献活動を一緒にしている（いた）
5. 障害福祉サービスの提供に携わっている（いた）
6. NPO・ボランティア団体に所属して支援している（いた）
7. 障がいのある人が働く店（作業所など）に行ったり、製品を買うようにしている
8. 障がい者福祉のための募金活動に協力している（いた）
9. 障がいや障がいについて学ぶ研修・講座に参加したことがある
10. インターネットを活用して障がいのある人と交流している（いた）
11. 特に関わりはない
12. その他（ ）

問9 あなたの身近（近所等）に障がいのある人がいる場合の対応についておたずねします。

① あなたは、障がいのある人との近所づきあいほどの程度していますか（できそうですか）。（1つに○）

1. 困っていることがあれば助け合うようなつきあい
2. 会えば立ち話をする程度のつきあい
3. あいさつをする程度
4. 悪いのであまり見ないようにする
5. どうつきあったらよいかわからない
6. その他（ ）

② あなたが障がいのある人に介助・支援しやすいのはどのようなかたちですか。
（1つに○）

1. 察して、こちらから手をさしのべる
2. 近所の人と話し合って、一緒に支える
3. 当事者から頼まれたら、できることをする
4. 自治会や市役所、市社会福祉協議会のバックアップがあれば、できることをする
5. NPOやボランティア団体に所属して組織的に支える
6. 市役所や市社会福祉協議会、専門の事業者任せたい
7. わからない
8. その他（ ）

③ あなたは日頃の生活の中でその人にどんな支援ができますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 本人の話し相手 | 2. 介護家族の話し相手 |
| 3. ごみ出し | 4. 外出の代行（買い物や犬の散歩） |
| 5. 何かの時の車出し（送迎） | 6. 外出の同行・つきそい |
| 7. 読み書き等の代行 | 8. 安否確認・見守り |
| 9. 緊急時の連絡 | 10. 特にできることはない |
| 11. その他（ | ） |

問10 あなたは、障がいのある人に対する災害時の避難について、市や地域には**どのような**支援や配慮が必要と考えますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|---|
| 1. 災害情報や避難情報が確実に得られる環境づくり | |
| 2. 障がい等に対応した避難場所のきめ細かな確保 | |
| 3. 障がい等に対応した治療、薬、非常食などのきめ細かな確保 | |
| 4. 避難路や避難施設のバリアフリー化 | |
| 5. 日頃から避難施設になじんでおけるような機会づくり | |
| 6. 障がいのある人 等を加えた地域で行なう防災訓練・避難訓練の実施 | |
| 7. 各小学校地区避難所運営委員会などへの 障がいのある人等 の参加 | |
| 8. 障がいのある人 をめぐる家族・地域・学校・職場・医療機関等の連絡体制の確保 | |
| 9. 地域住民同士の日頃からの関係づくりと地域の中の支援体制づくり | |
| 10. 公的機関による確実な支援体制の確保 | |
| 11. 災害時要援護者に対応できる災害ボランティアの確保 | |
| 12. わからない | |
| 13. その他（ | ） |

問11 あなたは「障害者差別解消法」について知っていますか。(1つに○)

- | |
|-------------------------|
| 1. 名称も内容も知っている |
| 2. 名称を聞いたことがあるが、内容は知らない |
| 3. 名称も内容も知らない |

問12 あなたは障害者差別解消法で求められる「合理的配慮」について知っていますか。
(1つに○)

- | | | |
|-------------|----------------------|---------|
| 1. 内容を知っている | 2. 聞いたことがあるが、内容は知らない | 3. 知らない |
|-------------|----------------------|---------|

問13 あなたは障がいのある人の権利が奪われたり、損なわれないようにするために、どのような手助けや取り組みがあるとよいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 困りごとをなんでも相談でき、助言をしてくれる相談窓口
2. 弁護士など法律の専門家や法律上の問題をあつかう相談窓口
3. 自分の代わりに交渉ごとや財産等の管理をしてくれるサービス
4. 障がいや難病のある人の権利が損なわれたときの苦情を受けつけ、必要に応じて調査や指導などをおこなう第三者による制度
5. 障がいや難病のある人の権利について、障がいや難病のある人自身が学ぶ機会を増やすこと
6. 障がいや難病のある人の権利について社会の意識を高めること
7. その他 ()
8. 特にない
9. わからない

3. ボランティア活動について

問14 あなたは、福祉に関するボランティア活動に関心はありますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 非常に関心がある | 2. ある程度関心がある |
| 3. あまり関心がない | 4. 全く関心がない |

問15 あなたは、福祉に関するボランティア活動をしたことはありますか。

(1つに○をつけ、1をお選びの場合は、付問①を、2をお選びの場合は付問②をお答えください。)

1. はい

2. いいえ

問15で「1」と答えた方にお聞きします。

付問① それは、どのような活動ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------|-------------------|
| 1. 施設での手伝い | 2. バザー・イベントなどの手伝い |
| 3. 生活面の援助 | 4. 旅行や外出の手伝い |
| 5. 募金活動の手伝い | 6. 専門的技能を活かした手伝い |
| 7. その他 () | |

問15で「2」と答えた方にお聞きします。

付問② ボランティア活動について、したことがない理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 身近に活動グループや仲間がいないのでよくわからない |
| 2. 活動したい気持ちはあるが、仕事や家事が忙しく時間がない |
| 3. 活動したい気持ちはあるが、きっかけがつかめない |
| 4. 健康に自信がないので難しい |
| 5. 興味を持てる活動がない |
| 6. ボランティア活動はしたくない |
| 7. 家族や職場の理解が得られないので難しい |
| 8. その他 () |

4. 障がい者施策について

問16 現在、障がいのある人への就労支援施策が推進されています。あなたは、障がいのある人が働くために、どのような条件が必要だと思いますか。（3つまで○）

1. 事業主や職場の人たちが、障がい者雇用について十分理解していること
2. 障がいがあっても取り組める仕事があること、仕事を切り出せること
3. 障がいに対する周囲の理解があること
4. 障がいのある人に配慮した設備が整っていること
5. 自宅で働けたり、通勤手段があること
6. 就労のための職業訓練が充実すること
7. その他（ ）
8. わからない

問17 あなたが、障がいの有無に関わらず、安心して自分らしく暮らせるまちにするために、今後特に重要と思うことは何ですか。（3つまで○）

1. 医療・福祉・教育・就労などの一体的なネットワークづくり
2. 障がいを早期に発見・受容できるようにする支援の充実（保健医療）
3. 障がい福祉を支える人づくり（福祉保健人材の育成）
4. まちや施設のバリアフリー化の推進（障害物を置かないなど）
5. 情報のバリアフリー化、情報通信機器活用の推進
6. 心のバリアフリーの推進（個性を認め、助け合う風土づくり）
7. 障がいのある・なしに関わらず一緒に学べる教育環境づくり
8. 働いて自立できる環境づくり（就労支援の充実）
9. 障がいがある人が安心して暮らせる終の棲家の用意
10. 自宅での生活を支えるサービスの充実
11. 近所づきあいの促進、地域コミュニティの活性化
12. NPO・ボランティアなど、市民活動・地域活動の推進
13. 障がいの有無に関わらず誰もがでることで参加・貢献するまちづくり
14. サービスを活用し、よりよく生きるために必要な情報や相談体制の充実
15. その他（ ）

問18 障がい者福祉に関する施策等について、市へのご意見・ご感想などがございましたら、ご自由にお書き下さい。

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。